

豊中市とNTT西日本との デジタル・ガバメントの実現に向けた連携協定



豊中市
TOYONAKA CITY



NTT西日本

連携協定の目的

デジタル・ガバメントの実現に向けて
まちの機能や行政サービスを効率化・高度化し
市民生活の利便性や快適性を向上させるため
協働で取り組みます

生涯現役社会の実現

Society5.0の推進

地域経済の活性化

デジタル・ガバメントとは

ICTを活用して行政サービスを高度化し利便性を向上するだけにとどまらず、デジタル技術によってサービスや働き方、社会経済活動を変革し、新たな価値を創造するもの。

国においても「デジタル・ガバメント実行計画」を策定し、「デジタルファースト」「ワンスオンリー」「コネクテッド・ワンストップ」の3原則に則り、各種取組みを推進中。



デジタル・ガバメントの実現に向けた連携協定

今後の主な取組み

- オンライン手続きの拡充
- キャッシュレス決済
- AI・RPAの活用
- GIGAスクール構想
- オープンデータ
- 官民でのデータ活用
- クラウドサービスの利用
- マイナンバーカードの普及
- スマートシティの推進 など

具体的な取組み事例 1

「デジタル技術の活用に精通した人材」の育成に向けた支援



デジタル人材の育成に向けた各種セミナーの実施

先進自治体や事業者等とのネットワーク構築

先進的な教育の推進

NTT西日本の強味であるネットワーク技術などに関する知見を活かした職員向け研修やワークショップの実施

スマートシティ先進自治体や関連企業とのネットワーク構築・情報連携

10年後、20年後をみすえた未来の人材育成のため、教育現場における先進的な教育の検討・推進

具体的な取組み事例 2

市民が「新たな技術による変化」を実感できる生活空間の創出



フリーWi-Fiで
利便性向上



防犯カメラ内蔵で
安心感アップ



ウォーキング・
ランニングの
距離計測やイベン
ト参加数カウント



広告の放映・
広告効果の検証
公益情報の発信
(緊急災害時の情報発
信についても検討)



※デジタルサイネージの外観・
表示内容はイメージとなります。

デジタル化によるイノベーションの推進

各種ソリューションの活用に向けた検証

AI/IoT等の先進技術活用支援

公園などの身近な生活空間にデジタルサイネージを設置し、ランニングやウォーキングをより楽しむことができるサービスを提供

デジタルサイネージを利用する市民の健康情報や利用頻度といったデータ（匿名情報）を活用することも検討

令和2年（2020年）8月から千里中央公園を候補地としてモデル実施予定